

W F P の
温暖化ガス

削減プロジェクト支援

加山興業とカーボンフリーコンサル

廃棄物処理業の加山興業（名古屋市中）は環境コンサルティングのカーボンフリーコンサルティンク（横浜市）と植林契約を提携し、WFP国連世界食糧計画が進める「温暖化ガス削減のための食

糧支援（Food-Forest Carbon-Free）プロジェクト（PROJECT）を支援する。

インドネシアは8700万人が貧困による食糧不足の状態にあり、その多くがサイモール島を占

む東部インドネシア地域に集中している。WFPが進めているプロジェクトは、共同体により乾燥し荒れた土地の開墾・植林事業を支援することで、現地の緑化を行い、土壌の改良を推進する。これにより生活に必要な食料の生産および余剰の販売を可能にし、貧困からの脱却を図り経済的な自立につなげていくことを目指している。

同プロジェクトの実施により一世帯当たりの農

地（0.16ヘクタール）にカシナンツの木が、また農地の周りにシャトロファの植樹が行われ、20年以上の間間にわたって保全されていく。またシャトロファの樹を活用するために各世帯にシャトロファ専用調理用コンロを配布し、これにより薪の使用量を減らし炭素吸収源となる森林資源の保全に役立てていく。

加山興業では引き続き環境対策を進め、同プロジェクトで貢献できる世帯数を増やしていくことで温暖化ガス削減とともにさらなる食糧支援を展開するための活動を行っていく方針だ。